



学校だより

令和7年4月11日発行 第1号

「令和7年度を迎えて」

校長 太田 千佳子

保護者のみなさま、地域のみなさま、日頃から本校教育活動に深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。

4月に着任いたしました校長の太田千佳子と申します。中札内高等養護学校より参りました。上川管内での生活は初めてで、大雪山系を眺めることのできる鷹栖町の景観を見て感動から始まりました。これからどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度本校に在籍する児童生徒は、小学部30名、中学部31名、高等部42名、計103名で、その内39名が寄宿舎に入舎します。教職員は、学校、寄宿舎、行政を合わせて103名で、今年度、新たに主幹教諭が配置されました。

学校は、子どもたちが将来社会自立したときに必要な力をどう身に付けようか?と常に考え実践する場所です。しかし、近年の時代の変化の早さに大人でも不安を感じるこの時代、果たしてどんな力が求められていくのだろう・・・、と思う方々は多いのではないかと思います。どんな時代になったとしても、一人一人に居場所があり、協力し合える誰かがいることが、自分らしく生きるために必要なのだと考えます。

そんな想いを込めて、本校では「小・中・高・舎のつながりを深めること」「ICTの積極的活用と工夫」「個別最適な学びと協働的な学びの充実」を経営ビジョンとして進めてまいります。1点目にあげた「つながり」は保護者のみなさまにも意識していただきたいと思っています。この学校で学ぶことになった縁で知り合った保護者同士のつながりは、子育てのことや進路のことなど話し合える仲間をもつことにつながり、保護者の皆様にとっても学びの機会になると考えます。保護者同士のつながりは子どもたちにも温かな影響を及ぼすと期待しています。

長年、鷹栖町とともに教育を推進してきた鷹栖養護学校ですが、地域のみなさまから多くの愛情をいただきながら教育を推進してきました。子どもたちにとっても地域の方々とのかわりから、社会性の育ちのために大きな影響をいただいています。これからも児童生徒が社会自立するために必要な力について共有するために、地域のみなさまの声を聞かせていただきながら学校運営してまいりたいと思っています。

今年度も教職員一同、力を合わせて子どもたちの居場所づくりに努め、成長と発達を支えていきたいと思っています。保護者のみなさま、地域のみなさまご支援をよろしくお願い申し上げます。

